

# いっちょだより



夏休みも明け、二学期がスタートしました。校舎には、元気な子供たちの声や笑顔がいっぱいになりました。

今回のいちだよりで、各学部の一学期の様子と二学期に向けた活動内容をお知らせします。

## 小学部

今年度は新一年生に十三名が入学し、また、五、六年生に二名の転入生を迎え、総勢七十四名の児童が学校生活を送っています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対策のため、一学期は中止となつてしまつた行事もありました。「行きたかつたなあ」という表情を見せる子どももいて、とても残念な思ひです。しかし、子どもたちはそんな思ひをかき消すように、毎日、元気良く活動しました。課題学習で数や言葉の学習に集中して取り組み、体育や音楽で楽しく体を動かし、図画工作で表現活動に励むなど充実した毎日を送りました。

二学期は、様々な行事が計画されています。それぞれの行事に向けて、生活や体育の時間を中心に学

習を積み重ねていきます。日々の状況に柔軟に対応していきながら、子どもたちが笑顔で活動できるように取り組んでいきたいと思ひます。

## 中学部

今年度、中学部は十二名の新入生を迎え、四十名の生徒と元気に楽しく活動しました。感染症対策には万全を期しながら、日々の授業に取り組みました。どろんこになりながら行つたお米の苗植え、美術での共同作品作り、毎回白熱する体育のバスケットボールなど。特に朝の体力作りや週二回の作業学習は、学年を超えた学び合いの場面で、意欲の向上と成長の良い機会となっております。授業参観や交通安全教室、時間制限はありましたが近隣校外活動も実施することができました。

二学期は行事のトップシーズンで、校外活動等様々予定されています。安全を最優先にしながら、その時その時にできる活動を工夫して取り組んでいきたいと考えています。一つ一つの授業、学校生活を大切に、生徒たちの成長の季節にしていきたいと思ひています。

## 高等部 本校

新型コロナウイルス対策で今だに三密を避けた教育活動や時差登校、黙食、下校後の消毒作業が続いています。不自由な生活ですが、生徒自身の努力やご家族、放課後支援先等のご協力により一学期は充実した学校生活をおくることができました。何よりだと思ひます。本当にありがとうございます。

二学期からの活動ですが、予定している行事が滞りなく実施できるかは不確定な状況です。安全な活動を模索しつつ、ご家庭にかける負担を最小限に留められるよう配慮しながら慎重に判断していきたいと思ひます。

卒業生と話をすると高校生活は本当に楽しかつたと語る方が多いです。今の在校生に不便を強いていふことを本当に心苦しく思ひています。改めて個々できる活動に着目したり、新しくリモート授業を体験したりこの状況の中でできることを行つていくところ。今後も一つでも多くの学校生活の良い思ひ出をつくり、人生の糧となる経験を積んでいけたらと考えています。引き続き教育活動へのご理解とご協力をお願いします。

神奈川県立保土ヶ谷養護学校  
学校 便り 第三十号  
住所 横浜市保土ヶ谷区権太坂一―八―一  
電話 〇四五(七―四)〇一二六  
令和三年 十月五日 発行

## 高等部 舞岡分教室

今年度、舞岡分教室は一年生十五名、二年生八名、三年生十三名の計三十六名の生徒が活動しています。舞岡分教室の教育の特長は、豊かな自然の中で地域の人や資源を有効に活用しながら活動をしていることです。前期実習では、多くの生徒が地元や地域の事業所等で働く体験をすることができました。校外での実習は校内の何倍もの貴重な体験になったことと思います。また、「田んぼ」の授業では、教員以外の方から指導を受け、自然とのふれあいや食育、農業の大変さを知ることができています。今後も地域の力をお借りしながら、「自立と社会参加」をめざしていきたいと考えています。

高校との「交流」もできる範囲ですめています。四月の「対面式」は放送での交流となりましたが、六月の「体育祭」では一部種目（玉入れ）に参加し、若干のハンディはいただきましたが、五チーム中何と一位！になりました。「竹の子狩り」では、高校教員をゲストティーチャーに招きました。十月の「桔梗祭」（文化祭）では、「職業」の製品（手芸品・革製品）を販売する予定です。分教室の生徒や教育活動を知ってもらおう機会にしたいと思います。舞岡分教室は耐震化工事のため、二学期から一年間、グラウンド奥に建設された仮設校舎に移動となりました。新たな校舎で後期の学校生活も充実したものにしていきたいでしょう！



## 高等部 横浜平沼分教室

横浜平沼分教室は今年度、四十四名の生徒が在籍しています。活動は学年ごとが基本ですが、三学年縦割りの授業・活動もあります。その中でも委員会活動は保健、文化、環境、生徒会の四グループに分かれ、分教室が楽しく、安心して過ごせるように自分たちでできる活動を考えています。

七月十五日のレクリエーション大会は、文化委員会が企画、運営を行いました。みんなが楽しめて、新型コロナウイルスと熱中症対策もできる内容を考え、四教室に分かれてクイズ、お絵描きリレー、ボッチャを企画しました。事前に進め方やクイズ等を相談し、当日は委員が司会、ルール説明、出題、ボッチャの審判等を分担して行いました。ジェスチャークイズ出題者の動きの上手さ、お絵描きリレーの特徴をとらえた絵、ボッチャのボールをねらった所に投げる力加減などで盛り上がり、学年を超えて楽しみました。



## ホームページも

ご覧ください

学校ホームページでは「いちょうだより」で載せきれなかった情報も多数掲載しております。

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hodogaya-sh/>



## 「ほどようブランド」

学校運営協議会の「農園活用部会」では、子どもたちが農園で作った野菜を「ほどようブランド」として地域の方にお配りする予定です。

本校の農園で育てた野菜を知っていただき、地域との関係を深めるのが目的です。

横浜市資源循環局の皆さんやチャレンジフィールドの指導員の方の協力を得て「ほどようブランド」の名にふさわしい高品質の野菜作りを目指しています。